

【意見招請】2023-2025 年度課題別研修「ICT 実践力強化のためのコア技術人材育成」に関する業務

(意見招請の公示日：2022年12月22日) について、業務仕様書(案)に関する意見と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
沖縄国際センター 研修業務課

通番	該当頁	該当項目	意見	回答
1	P. 10	別紙2 業務仕様書(案) 3 業務予定期間	コース前後の準備、報告書作成・経費精算の期間がそれぞれ半月では短いと考えます。それぞれ1か月にするのはいかがでしょうか。また、各年次契約の期間が10か月となっていますが、コース前後の期間をそれぞれ1か月とした場合、人員・設備・機器等の制約のため、なるべくコース実施期間が重複しないようにするには12か月必要と考えますが、いかがでしょうか。さらに10か月で3コース実施の場合はAコースとCコースが重なるため、Aコースの機材の流用ができず、費用が増加すると思われるます。	コースの準備期間、また報告書作成・経費精算の期間については検討いたします。なお各コースの研修期間については、科目日数は79日であり、Aコース(8月中旬～12月中旬)、Bコース(10月頭～2月中旬)、Cコース(1月中旬～5月中旬)を想定しています。このため、Aコースの機材をCコースで流用することができると考えます。
2	P. 20	別紙2 業務仕様書(案) 5 (1) 実施体制 表2 要員表	各コースにコースリーダー1名となっていますが、コースリーダーは他コースの講師を兼務したり、病気になることもあるため、コースの管理を1名で行うのは難しいと考えます。各コースにコースリーダー1名、サブコースリーダー1名とするのはいかがでしょうか。(サブコースリーダーという役割を増やすということであり、要員を増やすということではありません。)	各コースにコースリーダー1名、サブコースリーダー1名を配置することを検討させていただきます。
3	P. 20	別紙2 業務仕様書(案) 5 (1) 実施体制 表2 要員表	コースリーダーがアクションプランサポートを兼任するとなっていますが、3コースのアクションプランをコース横断的に指導し、帰国後のフォローアップを行う専任のアクションプランサポート要員が必要(要員追加)と考えますが、いかがでしょうか。	アクションプランの指導は、各コースリーダーが適任であると思慮します。帰国後のフォローアップの要員は、本研修においては配置しない方向で検討しております。
4	P. 20	別紙2 業務仕様書(案) 5 (1) 実施体制 表2 要員表	情報セキュリティコースが追加となり、実機演習が必要な科目が増えています。また、コースの実施期間も重複することから、効率的に実習環境の構築を行うためには専任の技術サポート要員が必要(要員追加)と考えますが、いかがでしょうか。	技術サポート要員の配置については、コース開始時期のPCセットアップや終了時のデータ消去等、必要なタイミングに限りスポットで配置することを検討させていただきます。
5	P. 21	別紙2 業務仕様書(案) 5 (2) 各職位に求められる要件	ダイレクター及びコースリーダーについては原則、変更は認めないとありますが、条件を緩和することで幅広いご提案が可能になると考えます。	研修の質を担保するという観点から、原則として変更は認めないものとなりますが、どうしても避けられない事情があった場合は、受託先と弊センターの合意の上で変更を認めるものとなります。
6	P. 28	別紙2 業務仕様書(案) 6 (1) 機器及びソフトウェア	「研修用機材は外国人が使用することを考慮し、英語仕様とすることを原則とする」とありますが、PCについてはOSを英語版に切り替えることができるため、日本語仕様のPCでも研修で使用の上では問題ないと考えますが、いかがでしょうか。	PCについては、「英語使用を推奨しながらも、OSを英語版に切り替えることができれば日本語仕様のPCでも可能」と仕様書を修正する方向で検討いたします。
7	P. 31～33	別紙2 業務仕様書(案) 6 (3) 機材の仕様 表6 機材一覧表	研修用機材配置表の中に、一部、旧バージョンのハードウェア、ソフトウェアが見受けられました。	ハードウェア、ソフトウェア共に更新いたします。
8		別紙2-A 科目内容	県外見学が3日となっていますが、東京と関西地区の両方を見学するのが望ましいと考えます。そのためには最低5日は必要と考えますが、いかがでしょうか。	コロナ感染がまだ続いており、感染予防の観点も含め、限られた期間内で研修を終える必要があるため、県外見学は3日間とします。
9		別紙2-A 科目内容	Cコースのアクションプランの日数が8日となっています。Aコース及びBコースと同じ10日にするのがよいと思いますが、いかがでしょうか。	限られた研修期間内にコースを終える必要があります。Cコースについては、他の講義が早く終わった際に余った時間をアクションプランの講義に充当する等の対応をすることで、8日間でアクションプランの作成、発表を行うこととします。
10		別紙2-C 科目詳細	科目によりサブ講師が0名または必要に応じて配置となっています。グループワーク等もあることから、経験上全ての科目にサブ講師は必要と考えますが、いかがでしょうか。	業務仕様書に記載の通り、コースリーダーは講師を兼務することができるため、サブ講師=サブコースリーダーと考えております。質問2の回答の通り、コース期間中のサブコースリーダーの配置を検討させていただきます。